

PCBの安全かつ早期の処理完了に向けたこれまでの取組状況

1. 処理の安全性確保について

(1) 輸送路の安全対策

- 処理期間中の収集運搬経路の安全確保に万全を期すため、国の補助金を活用して安全対策に関する検討調査を実施中。

(2) 事故時の消防体制

- 万が一、PCB収集運搬・処理時に火災・漏洩事故が発生した場合に備え、消防活動用資機材（化学防護服、防毒マスク、油吸着マット等）を更新・配備。

2. 期間内での確実な処理について

(1) 広域的な連携強化

- 北九州エリアの広域協議会はもとより他地域の広域協議会等に出向き、関係自治体に対してPCBの安全かつ一日も早い処理完了に向けた取組みの強化を要請。
- 東京都以西 31 都府県・政令市等の参加による「北九州PCB処理事業の見直しに伴う広域連携会議」を 1 月 29 日に本市で開催し、今後の連携協力体制を構築（本市を含め 71 自治体が参加）。

(2) 市内に残るPCB廃棄物の処理

- JESCO等と密接に連携しながら、市内に残るPCB廃棄物の処理を加速化。
- 市内事業所に対し、PCB含有機器が残存していないか把握の徹底を求める通知。

3. 地域の理解について

(1) 市民向け「環境先進地域見学ツアー」の開催（平成 26 年 11 月）

- 響灘地域のPCB処理施設、エコタウン企業、ビオトープやエネルギー関連施設を視察するバスツアーを開催。

(2) 市民だよりの見直し（平成 26 年 11 月）

- 本市でのPCB処理事業に関する幅広い情報を市民により分かりやすくお知らせするため、広報紙「PCB処理だよりの見直し」としてリニューアルし、幅広く配布。

(3) 北九州市PCB処理監視会議の開催（1 月 19 日）

- 通常のJESCO操業状況に加え、安全かつ一日も早い処理完了に向けた取組みを、国、JESCO、市から報告。

(4) 国主催市民説明会の開催（1 月 19 日）

- 操業に加え、安全・早期処理の取組みを、国、JESCO、市から市民へ説明し、意見交換を行った。

(以上)